

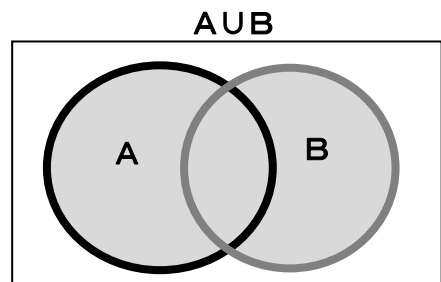
(3) 集合の演算

最も基本的な集合演算の例を以下に示します。

■和集合

集合 A , B の少なくとも一方に属している要素の集合を和集合といいます。たとえば, $A = \{1, 2, 3, 5\}$, $B = \{1, 3, 6, 7\}$ のとき, 以下のようになります。

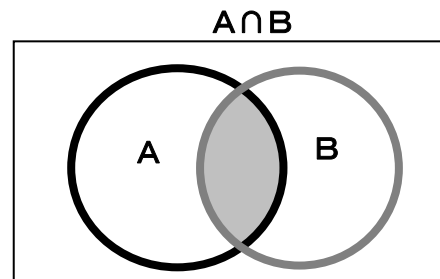
$$A \cup B = \{1, 2, 3, 5, 6, 7\}$$



■積集合

集合 A , B の両方に属している要素の集合を積集合といいます。たとえば, $A = \{1, 2, 3, 5\}$, $B = \{1, 3, 6, 7\}$ のとき, 以下の様になります。

$$A \cap B = \{1, 3\}$$



■差集合

集合 A の要素であって, 集合 B の要素でない要素の集合を差集合といいます。たとえば, $A = \{1, 2, 3, 5\}$, $B = \{1, 3, 6, 7\}$ のとき, 以下の様になります。

$$A - B = \{2, 5\}$$

